

令和8年度 江戸川区立 松江第五中学校 特別活動全体計画

校長名 岡田 隆平

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・よく学び深く考えた行動のとれる生徒の育成 ・心身ともに健康で思いやりの心を持った生徒の育成 ・責任を重んじ自主性に富んだ生徒の育成
特別活動の目標	集団活動への積極的な参加を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す生徒像	「よく学び ころ豊かな生徒」 <ul style="list-style-type: none"> ・感動や共感する心を持ち、深く物事を考える生徒 ・互いを認め、思いやり助け合って共に成長しようとする生徒 ・善悪をわきまえ、よりよい人間関係や集団、社会を築こうとする生徒 ・人の話をよく聞き、自己の思いを適切な言葉で表現できる生徒 ・健全な人生観・職業観をもち、自己の個性・能力および夢や目標の実現に向けて最善を尽くそうとする生徒
特別活動の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動、生徒会活動、学校行事、学年行事等の諸活動への積極的な参加を通して、集団の一員としてのあり方を自覚させ、学業生活の向上を図る。 ・生徒一人一人が活躍する場を与え、集団の一員としての自覚を高め、正しい連帯感と協調性を育てる。 ・学校行事では、体験的学習を重視し、感動体験を積み重ねることによって、豊かな心を育てる。

	学級活動	生徒会活動	学校行事
目標	学級や学校の生活の充実と向上を図り、個人及び社会の一員として望ましい人間関係を形成し、将来の生き方や進路などについて自主的に考え、諸問題を自主的に解決しようとする態度を育てる。	集団や社会の一員として、学校生活の充実や改善向上を計画的に図り、ボランティア活動などを通して、協力して諸問題を解決しようとする実践的な態度を育てる。	体験的な活動を通して、学校生活における秩序や集団への所属感を深め、学校生活をより充実させ発展することのできる資質を養う。
指導の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的・実践的に集団生活を楽しく規律正しいものにしていく態度を育てる。 ・学級の役割を全員で分担し、学級の中で自己実現ができ、所属感や仲間意識を高めるようにする。 ・学級における人間的なつながりを深め、温かい友情を育てる。 ・将来の生き方について自覚を高め、自己を生かす能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の実態を見つめ生徒会組織や活動の改善を図り、全生徒のもつ問題点や意見が十分反映できるようにする。 ・生徒会活動全体に調和ある計画を立案し、実践的活動を展開できるようにする。 ・一人一人の生徒が、活動を通して、自主的な態度や実行力を身に付け、協力し合う態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の中で、学校の一員としての自覚をもたせ、感動的体験を味わうことによって人間のあり方を学ぶ。 ・学校生活の流れの中で望ましい変化を与える集団活動により日常の学習成果を総合的に発展させ、学校生活を明るく豊かなものとする。
主な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校生活の充実と向上に関すること。 ・個人及び社会の一員としてのあり方、学業生活の充実及び健康や安全に関すること。 ・将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。 ※週の時間割に位置づける(月曜日1校時)。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会 生活、整美、図書、保健、給食、放送 ・中央委員会 ・学年委員会 ・生徒会行事(生徒総会等) ・生徒会朝礼 ・老人ホーム訪問 ・リサイクル活動 ・募金活動 ・特別支援学級との交流行事 ・専門・学年・中央委員会 月1回 ・生徒総会 年1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・儀式的行事(入学式、卒業式等) ・学芸的行事(文化祭等) ・健康安全・体育的行事(運動会、避難訓練等) ・旅行・集団宿泊的行事(修学旅行・林間学校等) ・勤労生産・奉仕的行事(大掃除・美化デー等)
各教科・読書科	学級や班での活動では、話し合い活動や言語などによる表現や発表などが大切である。こうした活動の基本となるのが、国語をはじめとする各学習での活動である。日々の授業において適切な言語活動を実施する。	生徒会や専門委員会などにおける話し合い活動、言語などによる表現や発表活動が大切である。こうした活動の基本となるのが、国語をはじめとする各学習での活動であり、日々の授業において適切な話し合い活動を実施する。	運動会については、保健体育科の学習成果の発表としての視点を明確にする。また、クラス旗については美術科や家庭科などの学習と関連を図る。文化祭では国語科や社会科、音楽科や美術科、技術・家庭科の学習の成果としての視点を明確にする。修学旅行や林間学校については、国語科や社会科などの学習と関連を図る。
他の教育活動との関連	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する態度。それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、謙虚に他に学ぶ広い心をもつ態度。学級や学校、地域社会の一員としての自覚をもち、自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める態度などの道徳性を、集団生活を通して身に付ける。	より高い目標を目指し、着実にやり抜く強い意志。自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ態度。自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する態度。公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める態度などの道徳性を身に付ける。	いずれの行事についても道徳性を養うことを重視するが、特に次の行事については重点的に扱う。 <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室、防犯教室: 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・文化祭(合唱): 文化祭の成功に向けて、学級・学年の創造性と連帯感を高め、協力する気持ちを養う。 ・儀式的行事: 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。
総合的な学習の時間	学級活動において、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を相互に役立たせるようにする。	生徒会による諸活動を実践することを通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。	自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察・実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習において総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。
家庭や地域との連携	生徒は、学級や学校の一員として学校生活を送るとともに、家庭や地域の一員として生活しているため、学級活動の指導においては、家庭や地域等との連携・協力が重要な意味をもっている。このことから、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。(3)の指導においては、地域の方々や、関係機関等の専門家から話を聞くなどの活動を工夫していく。	ボランティア活動における老人ホーム訪問については、地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図るようになるために、地域との連携を深め、その教育力の活用を図る。	家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図り、地域の自然や文化、伝統を生かす。また社会教育施設等を活用したりする活動が展開できるよう工夫する。入学式や卒業式などの儀式的行事、運動会や文化祭などの文化的行事・体育的行事などでも家庭・PTAや地域の方々と連携し、よりよい社会人の育成に努める。
備考			